



令和3年度

「奈良の学び」を **未定稿**
推進するために

奈良県教育委員会

毎年 11 月 1 日は「奈良県教育の日」



第2期奈良県教育振興大綱

本人のための教育

一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ
本人のための教育を行います。

1. 「学ぶ力」をはぐくむ

2. 「生きる力」をはぐくむ

学ぶ楽しさを知る

ものの見方・理解
の仕方を学ぶ

学び続ける習慣・
ものごとの整理整頓
をつける

成長段階に応じて
「生きる力」を
はぐくむ

リーダーシップ・
地域に貢献する力
をはぐくむ

人との良い関係をつくる力
をはぐくむ

1 こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ

2 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ

3 働く意欲と働く力をはぐくむ

4 地域と協働して活躍する人を育てる

5 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる

奈良の学び推進プラン

学ぶ意欲を
喚起する

学びを継続する
態度を身に付ける

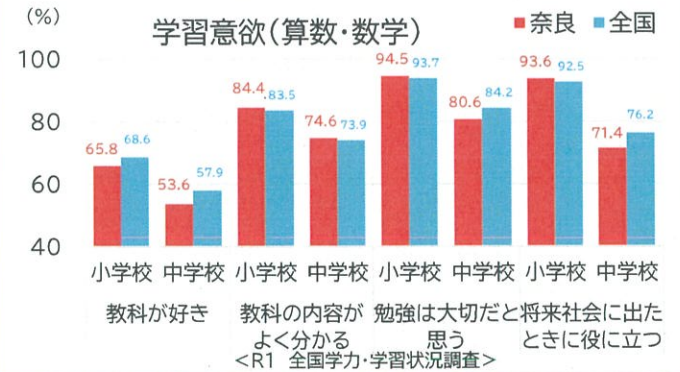
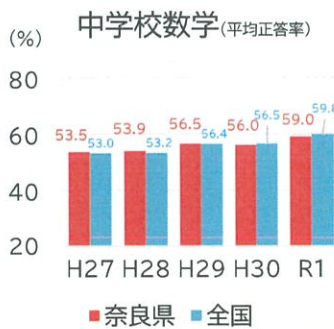
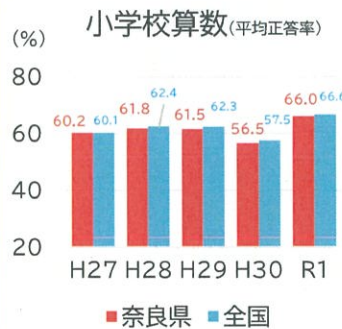
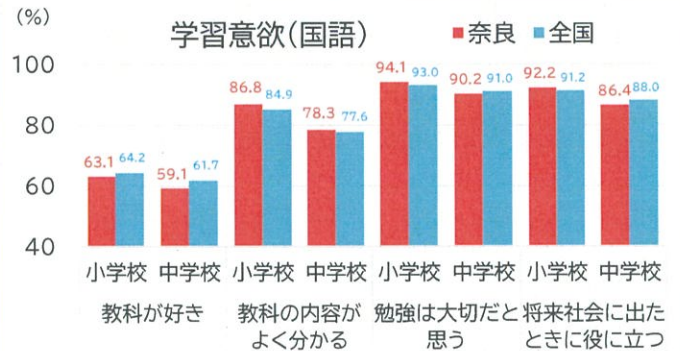
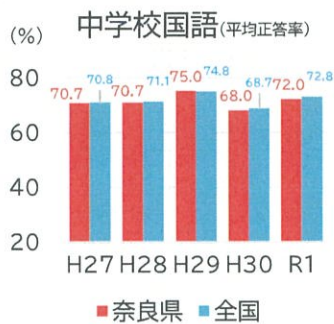
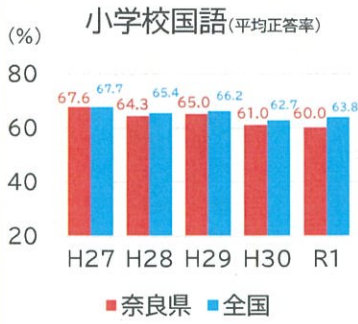
学びを社会に
生かす

郷土奈良の歴史・文化・自然

データから見た奈良県の子どもたちの状況

学力、学習意欲

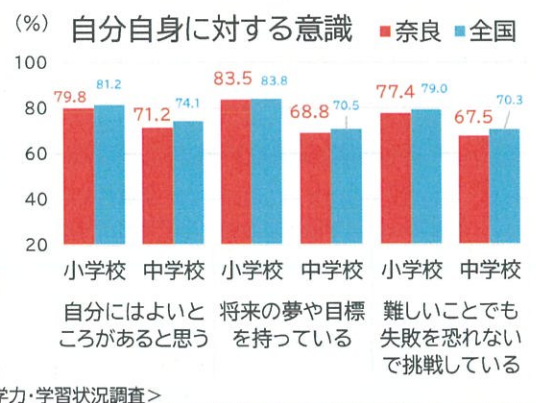
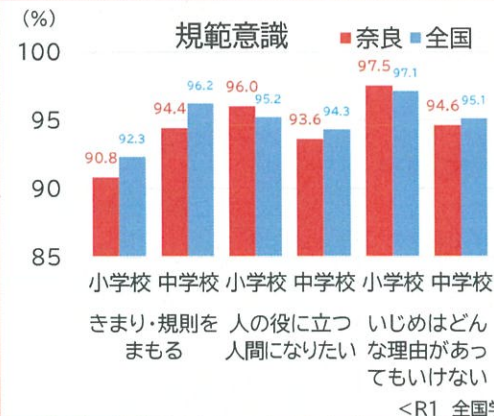
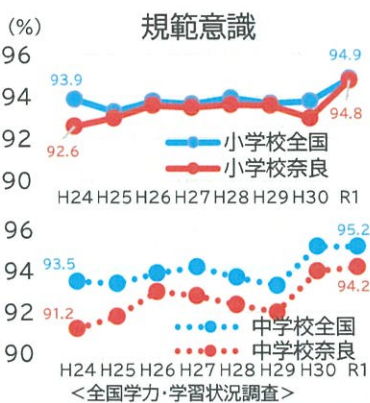
子どもの学力について、小学校算数、中学校国語、数学については全国平均並み、小学校国語において下回っている。教科の内容の理解について肯定的な回答が全国を上回っている。



<全国学力・学習状況調査>

規範意識・自分自身に対する意識

規範意識を示す指標は、全国平均に近づきつつある。規範意識として設定している2項目の肯定的な回答は、小学生において全国平均を上回っている。

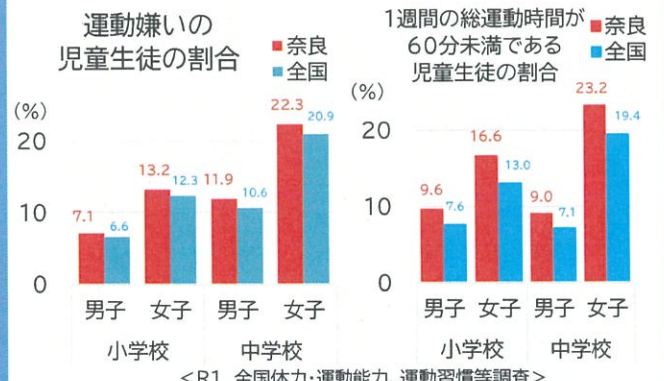
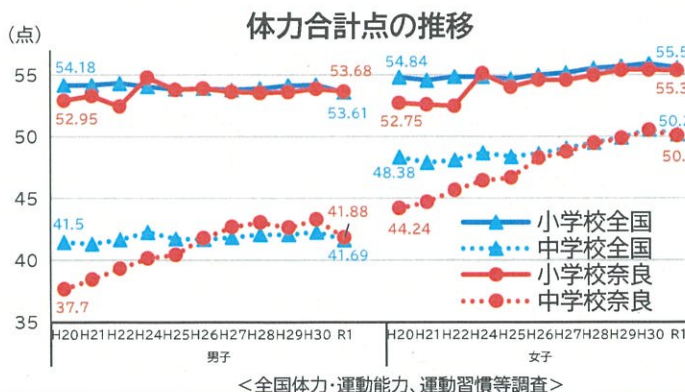


<全国学力・学習状況調査>

<R1 全国学力・学習状況調査>

体力、運動能力、運動習慣

体力合計点は全国平均レベルまで向上し、中学男子は全国平均を上回っている。1週間の総運動時間が60分未満である児童生徒は全国平均より上回っている。



<全国体力・運動能力、運動習慣等調査>

<R1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査>

出典等:「全国学力・学習状況調査(文部科学省)」小学校6年生、中学校3年生の児童・生徒が対象 ※R2は未実施
 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)」小学校5年生、中学校2年生の児童生徒が対象 ※H23及びR2は未実施

1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ

【目指す方向】

- ・自己肯定感と他者への寛容なこころをはぐくむ
- ・健やかな身体をはぐくむ
- ・就学前教育に関わる全ての関係者が共通の意識をもって実践する

(1) 就学前教育の充実

- ・就学前プログラム「はばたくなら」の充実普及
県内の就学前教育施設における就学前教育の手引きとして平成30年度に策定された、奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」を活用した就学前教育の実践を進めるため、「はばたくなら」の一層の普及啓発を図る。



奈良県版就学前教育プログラム はばたくなら

(2) 健康教育の充実

- ・子どもの健康課題を踏まえた学校保健活動の充実

学校保健に関する各種研修会・講習会の内容を充実させ、教職員の資質や指導力の向上を図るとともに、関係機関等との連携を深め、地域の実情を踏まえた学校保健の取組を推進する。



- ・「学校におけるアレルギー疾患対応指針」
- ・「がん教育」教材リーフレット
- ・学校保健統計調査 他

(3) 食育の推進

- ・学校教育を生かした食育の推進

食に関する指導の全体計画や年間計画に基づき、学校教育活動全体を通して食育を推進する。

また、栄養教諭等が中核となって教職員と連携し、学校給食を「生きた教材」として活用するとともに、食に関する指導を充実させるため、地場産物の積極的な活用を図る。



- ・つながる食育推進事業報告書
- ・社会的課題に対応するための学校給食の活用事業報告書
- ・奈良県の郷土料理集
～元気に育て やまとっ子～ 他

(4) 体力の向上と運動習慣の定着

- ・運動習慣向上のための取組の推進

ホームページで外遊びの運動例を紹介するとともに、陸上・水泳の記録会を開催するなど、児童が様々な運動に取り組み、運動の楽しさを味わうことができる取組の充実を図る。



外遊び、みんなでチャレンジ!



天理市立朝和小学校「8の字大なわとび」

2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ

【目指す方向】

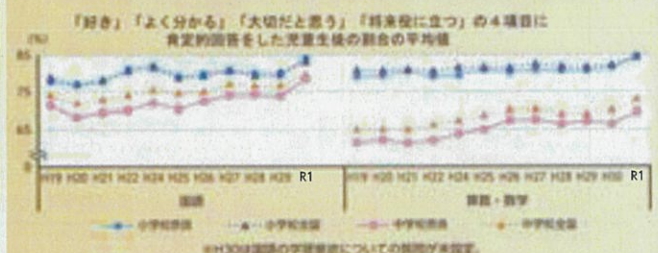
- ・学ぶ楽しさを知り生涯学び続ける意欲をはぐくむ
- ・人に自分の考えを理解してもらう力をはぐくむ
- ・新たな時代を豊かに生きる力をはぐくむ

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

学ぶことに興味や関心をもたせ、新しい知識・技能を既にもっている知識・技能と結び付けながら習得させることなどを大切にしながら、多様な学習活動を組み合わせて授業を組み立てていくことで、児童生徒の学力の向上を図るとともに、学習意欲の向上につなげる。

- 学習意欲を示す指標は、小学校の国語が全国平均を上回り、その他は全国平均に近づきつつある。



(全国学力・学習状況調査)

(2) 教職員の資質向上

・専門性や個性の伸長を図るための 研修体系の整備

教職員の経験や職責に応じて必要とされるスキルや力量を示した「奈良県教員等の資質向上に関する指標」等の育成指標に基づき教員等研修計画を構築し、大学等とも連携を図りながら、教職員が資質能力の伸長を図るための研修内容の充実努める。



奈良県教員等の資質
向上に関する指標

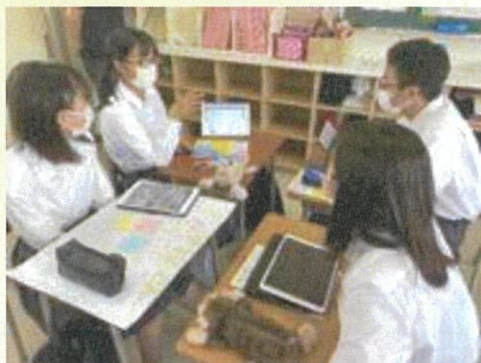


奈良教育大学と連携して行う小学校若手教員育成研修授業校研修
(ICTを活用した理科の授業) 広陵町立広陵東小学校

(3) 魅力と活力あるこれからの高校づくり

・学科・コースの特色化

特色化・多様化を推進するとともに、今後も続く生徒数の減少に対応して学校の活力の維持・向上を図るために策定した県立高等学校適正化実施計画を推進する。



国際高校「グループワーク」



香芝高校表現探究コース「新聞活用」

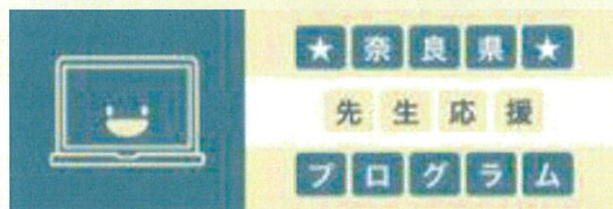
(4) ICTを活用した教育の推進

・教職員の情報活用指導力の向上

本県の義務教育段階の学校において整備が進んだICT環境を十分に活用するため、県と各市町村が協力・協働し、児童生徒の情報活用能力を伸ばす教育を推進できるよう、教職員のICT活用指導力向上研修などの充実努める。



奈良県先生応援プログラム



(5) 学校における働き方改革

・学校内の課題の共有や業務の適正化等、働き方改革を推進する場の設定

これまでの働き方を見直し、人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動ができるようにすることを目的として学校における働き方改革を推進するため、勤務時間管理の徹底と勤務時間・健康管理を意識した働き方の推進など、昨年度策定した「学校における働き方改革推進プラン」等を推進する。推進にあたっては、学校内の課題等を共有し、保護者・地域の理解を求め、連携しながら取り組むことが重要である。



働き方改革リーフレット



(6) 安全安心な教育環境の整備

・実践的な避難訓練を通じた防災教育の充実

安全に関する各種教室や、より実践的な訓練等の実施を通して、児童生徒に危険予測・危機回避能力を身に付けさせるための「安全教育」の充実を図る。



- ・防災教育資料について
- ・「歴史から学ぶ 奈良の災害史」について
- ・緊急地震速報受信時の
対応マニュアルについて 他

3. 働く意欲と働く力をはぐくむ

【目指す方向】

- ・地域で学びとしごとを円滑に接続させる

(1) キャリア教育・職業教育の推進

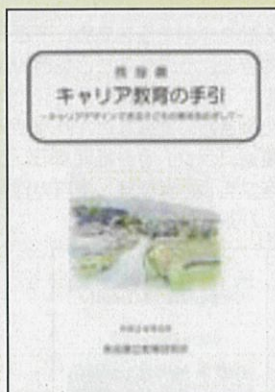
・小中高を通じたキャリア教育の推進

児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を組織的・系統的に育成し、自らの在り方や生き方を設計できるようなキャリア教育の構築を図る。「キャリア教育の手引」の活用を促進するとともに、教員対象の研修を実施する。

また、小・中・高等学校において「キャリア・パスポート」を活用し、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を実践する。



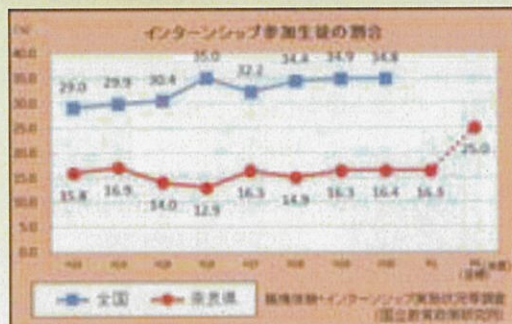
キャリア教育の手引



(2) 社会に役立つ実学教育の推進

・デュアルシステム、インターンシップの実施

勤労の尊さや創造する喜びを体得させ、望ましい勤労観・職業観を育成し、社会奉仕の精神を育むため、インターンシップ等の体験的な活動を充実させる。



4. 地域と協働して活躍する人を育てる

【目指す方向】

- ・異なる価値観をもつ人たちと共生する力をはぐくむ
- ・地域をコーディネートする力をはぐくむ
- ・生涯にわたる学びを通して郷土への誇りと愛着をはぐくむ

(1) 地域との連携・協働推進

・県立学校におけるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤として、学校と地域が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくため、「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の一体的な推進を図る。



コミュニティ・スクール



(2) 地域社会に貢献する人材の育成

・郷土の伝統、文化、自然等に関する学習「奈良TIME」の充実

高等学校において、授業や学校行事を通して、歴史文化資源など郷土の素材を生かしながら、探究活動を行うなど郷土に根ざした教育活動の一層の充実を図る。「古事記」や世界遺産等を題材に行っている「奈良TIME」の取組を充実させるとともに、その成果の発信を行う。



「総合的な探究の時間・奈良TIME」学習研究発表会

(3) グローバル人材の育成

- ・海外留学や国際交流を促進するための機会の提供
留学フェア等の実施により、留学の機運を醸成する。また、留学費用の助成等により、高校生の海外留学を促進する。



海外留学促進イベント

(4) 社会教育の推進

- ・社会教育関係者の資質向上及びネットワークの構築を図るための研修の実施

社会教育の中心的役割を担う者を対象に、その推進に関する基本的事項の研修を行い、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりに向けて市町村間のネットワークを構築し、社会教育を牽引する核となる人材の育成を図る。

5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる

【目指す方向】

- ・豊かなところをはぐくむ
- ・主体性をもち、自立して生きていく力をはぐくむ
- ・個々の特性を理解し、共生する力をはぐくむ

(1) 学校教育における人権教育の推進

- ・新しい「人権教育推進プラン」に沿った人権教育の推進

児童生徒が自尊感情を育み、自他の人権を大切にしようとする意識や意欲、実践的な行動力を身に付けることで、学校や社会で自分の可能性を最大限に発揮できるよう、「人権教育の推進についての基本方針」に則り、新しい「人権教育推進プラン」に沿った教育を推進する。



新しい「人権教育推進プラン」



(2) いじめ・不登校等への対策

- ・「奈良県いじめ防止基本方針」に基づく取組の徹底

各学校の「いじめ防止基本方針」の点検・見直しと、「いじめ防止組織会議」の活性化を図る。また、教職員の「いじめの定義の正しい理解」を推進し、引き続き「いじめの積極的認知」に取り組む。さらに、毎年12月を「いじめ防止強化月間」と定め、いじめ防止対策全般の充実に取り組む。



奈良県いじめ防止基本方針

(3) 特別支援教育の推進

- ・個別の教育支援計画や個別の指導計画の実効性のある活用

障害のある子どもの個々の障害の状態等に応じ、就学前から卒業まで切れ目ない支援を受けられるように、個別の教育支援計画や個別の指導計画のより実効性のある活用に取り組む。



- ・特別支援教育コーディネーターハンドブック
- ・特別支援学級教育課程ハンドブック

- ・障害のある子どもと障害のない子どもの交流及び共同学習の充実

障害のある子どもが地域社会の中で積極的に活動し、その一員として豊かに生きることができるよう、交流及び共同学習の充実を図る。



奈良県における「交流及び共同学習」実践事例集

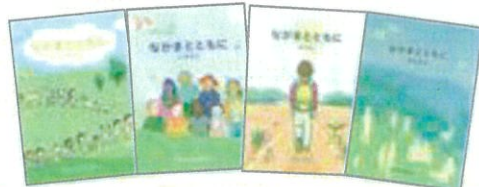
(4) 多文化共生教育の推進

- ・多文化共生教育、日本語指導に関する研修講座の充実

県人権学習資料集「なかまとともに」等の活用を促進し、互いを尊重し、違いを豊かさとして捉える感性を培う取組を推進するとともに、教職員を対象とした教育講演会や日本語指導研修会等を開催し、指導体制の充実と教職員の指導力向上を図る。



なかまとともに展開例



教育長メッセージ

令和3年3月に策定された「第2期奈良県教育振興大綱」では、子どもたち一人一人の「学ぶ力」と「生きる力」をはぐくむ「本人のための教育」を行うことを本県教育が目指す方向性としています。奈良県教育委員会では、第2期大綱の実現のために大綱で示された「教育施策の基本方針」に基づいて「奈良の学び推進プラン」を作成しました。推進プランでは、子どもたち一人一人の学びを高めていくために、「学ぶ意欲を喚起する」、「学び続ける態度を身に付ける」、「学びを社会に生かす」ことを重視しています。本リーフレット「令和3年度『奈良の学び』を推進するために」は、大綱及び推進プランに掲げる県教育委員会所管分野の施策から特に重点を置いて取り組む内容を、教職員をはじめ県民の皆様にご理解いただくために作成しました。

少子高齢化やAI・IoTなどの進展、グローバル化の加速など、社会の変化はますます激しくなっています。コロナ禍において、学校教育も大きな影響を受けました。これからの時代を生きる子どもたちには、予測困難な社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合っており合い、その過程を通して、自らの可能性を最大限に発揮し、自ら人生を創出することが求められます。

このように変化の激しい世の中において、課題を解決していくための原動力は、何かを好きになったり、夢中になったりすることです。どんなにAIやロボットが進化したとしても、人の心に寄り添ったり、人を育てたりすることは人間にしかできません。子どもたちの意欲や好奇心を引き出したりするのは教員です。教員自らが学ぶ姿勢をもち、奈良県の子どもたちが、自らの手で人生を創出することができる教育を、奈良県の学校・園でしっかり実践していただきたいと考えています。

新たに策定された大綱及び推進プランに沿って、今後とも関係機関と連携を深めながら、奈良県の未来を創る子どもたちの夢を育み、夢を実現できる教育を推進してまいります。県民の皆様の一層の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

奈良県教育委員会教育長 吉田 育弘

先生方を支援する各 Web サイト



<http://www.e-net.nara.jp/ouen/>

教育活動に役立つ情報を共有するため、「教育に関するQ & A」「教育に関する資料・データ」「役立つリンク」等のカテゴリで、先生方に情報を提供（奈良県教育委員会）



<http://www.e-net.nara.jp/ouen/index.cfm/12,0,63,180.html>

小・中学校の授業に活用できる練習問題、授業モデル動画等の配信（学校教育課）



<http://www.e-net.nara.jp/kenkyo/index.cfm/16,0,64.html>

教材・協議、学習指導案との紹介（教育研究所）



県教育委員会の点検・評価を行いました

奈良県教育振興大綱の実行に向けた今後の取組方針を明らかにし、効果的な教育行政の推進及び改善・充実に資することを目的として、奈良県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（令和元年度対象）の点検・評価を行い、報告書にまとめました。

点検・評価の内容は、教育委員会ホームページで御覧いただくことができます。

<http://www.pref.nara.jp/3563.htm>

- 〒630-8502 奈良市登大路町 30 奈良県教育委員会事務局 教育政策推進課 TEL0742-27-9830(直通)
- 奈良県教育委員会ホームページ <http://www.pref.nara.jp/1691.htm>

毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日（いきいきサンデー）」

